



たいさんぼく

HP <http://schit.net/tama/esminamitsurumaki/> E-mail daihyo-minamitumuramaki-sho@city.tama.ed.jp

言葉や文字と対話する

校長 森信行

11月9日に行われた本校運動会には、たくさんの方々が来校してくださいました。また、11月開催になり、日ごとの寒暖差が大きくなる中で、保護者の皆様には子どもたちの健康管理を丁寧にしていただき、誠にありがとうございました。多くの方々のご理解とご協力の上で開催できたことを厚く御礼申し上げます。

さて、運動会開催以外のことにも目を向けると、読書の取組が国を挙げて行われていました。「秋の読書推進月間」が10月26日から11月24日まで、日本図書館協会主催の「読書週間」が10月27日から11月9日まで行われています。本校でもそれらの取組に先んじて、10月に今年度の読書月間を定めて、全校で読書の推進を行いました。

文化庁が取りまとめた令和5年度「国語に関する世論調査」の結果の概要を読むと、1カ月間に読む本の冊数が0冊の回答は全体の62.6%です。これは子どもの調査ではなく、16歳以上への調査です。平成20年度の46.1%、30年度の47.3%と比較すると、飛躍的に上昇しています。「読まない」と回答した人の、本以外の文字・活字による情報を読む機会では、75.3%がほぼ毎日ある、と回答。年代別に見ると16~19歳が58.2%なのに對して、20代~40代は80%を超え、60代も76%となります。

電子書籍と紙の本の使用については、48%が電子書籍を多く使うと答え、紙の本とほぼ同数の回答でした。年代別では20代と30代が電子書籍を多く使う回答が半数を上回っています。

これらの数値だけで「読書離れの著しい増加」と言ってよいのかどうか、私にははつきりとしたことは言えません。大手新聞社をはじめとする各種のメディアでは、読書習慣の喪失は“若者の感情表現や人格形成に影響を及ぼしかねない”と報じる場合もあれば、「読書」という形態を幅広く捉えれば、“決して日本人が読書離れしているとは言い難い”と論じている場合もあります。

この情報を例に挙げるだけでも、書かれていることと、自分の中で対話することの必要性は大いに感じます。文学に書かれていることのみならず、多くの情報を短時間で得ようとする、じっくりと「咀嚼」することが省かれてしまい、自分自身の考えをもつことができなくなる可能性につながりかねません。

様々な意見を参考にしながらも、それらを基に自分自身の考えを形成し、再び人と論じ合えるような環境を学校の中でも作りたいと思っています。

学生時代の読書は、情報の取り込みを急ぐ必要のない環境で、作者やコメントーターの言葉を自分の中に取り入れ、じっくりと取捨選択の時間が保証される貴重な機会だと考えます。そこには○か×か、優れているのはどちらか、などの結果を決めなければ気が済まない、などの風潮とも一線を画すことのできる時間が流れていると考えています。

今年度の重点目標

自分が大切 みんなが大切

- ・あいさつをしよう
- ・きまりを守ろう
- ・協力しよう

12月の生活指導目標

協力して生活しよう

12月の安全指導目標

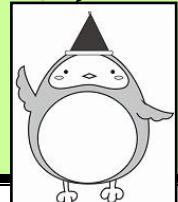
手を出して、背筋をのばして歩こう

12月の保健指導目標

気温に合わせて衣服の調節をしよう

12月の給食指導目標

後片付けをきちんとしよう



12・1月の行事予定

1 日	
2 月	朝会 しばちゅんたタイム1,5年 ジャイアンツアカデミー4年 図書館見学2年
3 火	しばちゅんたタイム3,6年 水泳1,2年 租税教室6年
4 水	B時程4時間授業 モーニングプラス1,2年 希望者面談① 避難訓練 合唱団ミニコンサート(中休み)
5 木	B時程4時間授業 モーニングプラス3,4年 水泳1,2年 希望者面談② エコプロ見学6年
6 金	モーニングプラス5,6年 委員会活動
7 土	芝生管理作業 サッカー/5年/6年
8 日	
9 月	B時程4時間授業 朝会 希望者面談③
10 火	集会 クラス遊び 小中児童生徒交流会
11 水	B時程4校時 モーニングプラス1,2年 希望者面談④ 避難訓練予備日
12 木	モーニングプラス3,4年 水泳1,2年
13 金	モーニングプラス5,6年 クラブ活動 卒業アルバム写真撮影 雅楽教室6年
14 土	
15 日	
16 月	B時程 わかば指導なし
17 火	芝生の日 水泳1,2年
18 水	B時程 クラブ活動 クラブ見学3年
19 木	集会
20 金	B時程
21 土	
22 日	
23 月	B時程
24 火	B時程 大掃除 給食終 わかば指導終
25 水	B時程 4時間授業 朝会
26 木	冬期休業日始
27 金	学校閉序日始
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	大晦日
1 水	
2 木	
3 金	
4 土	
5 日	学校閉序日終
6 月	
7 火	冬期休業日終
8 水	B時程4校時 朝会 授業再開 給食なし わかば指導始
9 木	集会 芝生の日 芝生指導
10 金	委員会活動 わかば保護者会

予定下校時刻	A(月・火・木)	B(水・金・土)	授業時間	月	火	水	木	金
4時間授業給食なし	-	12:15	1年	5	5	5	5	4
4時間授業給食あり	13:20	13:05	2年	5	5	5	5	5
5時間授業	14:35	14:05	3年	5	6	5	6	5
6時間授業	15:20	14:55	4年	5	6	5	6	6
7時間授業	-	15:40	5・6年	6	6	5	6	6

12月7日(土)の芝生管理作業

年内最後の芝生管理作業となります。芝生倉庫の整理清掃と手押し芝刈り機の刃研ぎ等、大人の人手が必要です。たくさんの保護者の方にご参加いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

第39回音楽発表会について

5年担任 教諭

音楽発表会の前日、5年生は全校に向けて合唱・合奏を披露しました。合唱「風の道しるべ」では、練習の成果が發揮され、美しい歌声が体育館中に響き渡りました。合奏「カルメン」では、一人一人がリズムや音の強弱を意識し、全員で息を合わせた演奏を届けました。この発表を見た下級生からは「音が合わさってきれいだった」「音が響いて気持ちが伝わってきた」という感想がたくさん寄せられ、温かい拍手に包まれました。

そして、迎えた本番では、さらに自信をもって堂々とした合唱・合奏を披露しました。本番を終えた子どもたちは、「全力を出し切れた!」と満足そうな表情を見せっていました。

休み時間や放課後練習など、一生懸命行った成果が出たことで、努力の大切さや仲間と一緒に成し遂げることの喜びを改めて実感することができました。



全国学力・学習状況調査の結果から 学力向上担当 主任教諭

本校の全国学力・学習状況調査の結果は概ね都や全国の平均値を上回っていました。領域ではデータの活用、観点では知識・技能の値がやや高い傾向にありました。問題形式では、選択式の正答率が80%を上回る結果でした。さらにアンケートの回答から、算数に有用性を感じている児童が9割近くいました。

しかしながら、変化と関係の領域についてはやや低い傾向にありました。個々のデータの読み取りや推察はできますが2つの数量関係を結び付けて考えるという視点をもつことが難しいようです。学校でも様々な事例を出し、表などにまとめながら学びを進めていますが、ご家庭でもそうした感覚を養ってもらえたたらと思います。

以下、詳細データとなります。ご参考ください。

分類	区分	平均正答率		
		本校	東京都(公立)	全国(公立)
全体		68.0	68.0	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	72.1	70.6	66.0
	B 図形	69.4	70.8	66.3
	C 変化と関係	54.0	59.3	51.7
	D データの活用	71.5	65.2	61.8
観点の評価	知識・技能	77.8	76.7	72.8
	思考・判断・表現	56.3	57.1	51.4
問題形式	選択式	80.6	79.2	75.3
	短答式	68.8	67.6	62.0
	記述式	52.5	55.1	51.0